

令和6年竹田市議会第1回定例会

代表質問通告一覧表

3月5日(火)

順番	議席	議員氏名	会派・党派
1	12番	阿部 雅彦 議員	忠恕ユニット
2	1番	賀籠 六めぐみ 議員	創生会
3	10番	鷺 司 英彰 議員	新生会

令和6年第1回（3月）定例会 会派代表質問事項

【3月5日（火）】

質問順位 1 番

議席番号12番 忠恕ユニット代表 阿部 雅彦 議員

発 言	事 項	発 言 の 趣 旨	答 弁 者
1. 農林畜産業の振興について	(1) 農業従事者の確保と農産物の生産性や食料自給率向上の取組について	(ア) 農業従事者の減少に対する取組と同時に、農産品目ごとの生産を上げ、食料自給率を高めていく政策が必要ではないか。	
	(2) 久住高原農業高等学校の入学を増やす取組や卒業生が竹田市で就農していくために竹田市として取り組める事業について	(ア) 農業を学べる高校として更なる魅力アップのために、学生寮へのサポートや就農するための場づくりや住居整備に取り組んではどうか。	
2. 商工観光業の振興とまちづくりについて	(1) 市内中小の業者を守り、事業を継続させたり、新規事業者をサポートする政策について	(ア) 経営者の高齢化や後継者不足等により店舗数が大きく減少していくことが見込まれる。竹田市として商工業者を支援する取組はできないか。	
	(2) 竹田城下町の街並みを守る政策について	(ア) 現在営業されている店舗やこれから開業していく店舗を支援し、街並みを守り、保存していくことが求められるが、どのようなまちづくりの方向性や事業を考えているのか。	
	(3) 企業誘致・観光施策・移住定住施策の取組について	(ア) T S M C 開業を生かした企業誘致・観光施策・移住定住施策にはどのような取組があるのか。	
3. 市民DXの取組による福祉向上と地域振興について	(1) デジタル田園都市構想によるまちづくりによる市民生活の福祉向上について	(ア) デジタル化による様々なシステムの構築は行政サービスの窓口や市内公共施設での利便性を高めるだけでなく、市民が行政や民間からの情報を得て、自らの生活の向上に生かすことが重要である。そのような取組は用意されているのか。	
	(2) 地域電子マネーによる利便性の向上や地域振興について	(ア) たけたん p a y によるキャッシュレス化やチャージシステムが導入されている。このシステムを常時活用し、通貨の地域内循環や市民の生活向上に効果的に生かしてはどうか。	
4. 教育諸課題について	(1) 学校統合問題と児童生徒の教育課題における取組について	(ア) 小中学校の統合問題や教育施策については、教育関係者や保護者、地域住民とさらに時間をかけて話し合い、研究や検討を重ねて進めていくべきではないか。	

発言事項	発言の趣旨	答弁者
1. 市政運営について	(1) 防災・減災対策について (2) 人材不足・人口減少にあ らがる施策について	(ア) 竹田市国土強靱化地域計画の概要と取組を伺う。 (イ) 竹田市国民保護計画の概要と取組を伺う。 (ウ) 竹田市災害時受援計画の概要と取組を伺う。 (エ) 南海トラフ地震対策について、市長の考えを伺う。 (ア) 第2次竹田市総合計画に掲げる、令和27年度の目標人口12,600人に対する取組は。 (イ) 令和6年度の主な人口減少対策事業の目的と効果は。 (ウ) 本市の出生数の推移をどう受け止めているか。 (エ) 若年層に魅力的なまちづくりにどう取り組むのか。 (オ) 高校・大学卒業者への市内就職促進の取組は。

発言	事項	発言の趣旨	答弁者
<p>1. 市長所信表明で触れた人口減少がもたらす諸問題について。</p>	<p>(1) 首都圏を除く人口減少は地域に様々な問題を提起している。教育環境や労働力不足の問題等、項目を絞ってその内容を問う。</p>	<p>(ア) 人口目標 第2次竹田市総合計画で、2045年の目標人口を12,600人と設定したが、その指針と根拠について伺う。</p> <p>(イ) 教育環境 この数年、市内の出生者数は100人を下回っている。令和5年4月、市内2中学校が統合された。今後の方向性について一番大切なことは何かを踏まえて伺う。</p> <p>(ウ) 労働力確保について</p> <p>① 外国人材 あらゆるジャンルで労働力不足により、全国的に外国人労働力に頼らざるをえない状況である。令和6年度当初予算に外国人材確保のための予算措置があるが、その内容について伺う。</p> <p>② 介護人材 令和6年度当初予算に介護人材確保に向けた予算措置があるが、その詳細について伺う。</p>	